

## 使用上の注意改訂のお知らせ

注意欠陥／多動性障害治療剤（選択的ノルアドレナリン再取り込み阻害剤）

アトモキセチンカプセル 5mg 「日医工」

アトモキセチンカプセル 10mg 「日医工」

アトモキセチンカプセル 25mg 「日医工」

アトモキセチンカプセル 40mg 「日医工」

アトモキセチン塩酸塩カプセル

製造販売元 日医工株式会社  
富山市総曲輪1丁目6番21

この度、上記製品につきまして「使用上の注意」の一部を改訂（下線部）致しましたので、お知らせ申し上げます。

なお、改訂添付文書を封入した製品がお手元に届くまでには若干の日数が必要ですので、今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいますようお願い申し上げます。

### ＜改訂内容＞（          ：自主改訂）

新			旧		
<p>【禁忌（次の患者には投与しないこと）】</p> <p>1. （現行通り）</p> <p>2. MAO阻害剤（セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩、<u>サフィナミドメシル酸塩</u>）を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者〔相互作用〕の項参照]</p> <p>3. ～ 5. （現行通り）</p>			<p>【禁忌（次の患者には投与しないこと）】</p> <p>1. （略）</p> <p>2. MAO阻害剤（セレギリン塩酸塩、ラサギリンメシル酸塩）を投与中あるいは投与中止後2週間以内の患者〔相互作用〕の項参照]</p> <p>3. ～ 5. （略）</p>		
<p>3. 相互作用</p> <p>(1) 併用禁忌（併用しないこと）</p>			<p>3. 相互作用</p> <p>(1) 併用禁忌（併用しないこと）</p>		
<p style="text-align: center;">薬剤名等</p>	<p style="text-align: center;">臨床症状・措置方法</p>	<p style="text-align: center;">機序・危険因子</p>	<p style="text-align: center;">薬剤名等</p>	<p style="text-align: center;">臨床症状・措置方法</p>	<p style="text-align: center;">機序・危険因子</p>
<p>MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩（エフピー） ラサギリンメシル酸塩（アジレクト） <u>サフィナミドメシル酸塩</u>（<u>エクフィナ</u>）</p>	<p>両薬剤の作用が増強されることがある。MAO阻害剤の投与中止後に本剤を投与する場合には、2週間以上の間隔をあけること。また、本剤の投与中止後にMAO阻害剤を投与する場合は、2週間以上の間隔をあけること。</p>	<p>脳内モノアミン濃度が高まる可能性がある。</p>	<p>MAO阻害剤 セレギリン塩酸塩（エフピー） ラサギリンメシル酸塩（アジレクト）</p>	<p>両薬剤の作用が増強されることがある。MAO阻害剤の投与中止後に本剤を投与する場合には、2週間以上の間隔をあけること。また、本剤の投与中止後にMAO阻害剤を投与する場合は、2週間以上の間隔をあけること。</p>	<p>脳内モノアミン濃度が高まる可能性がある。</p>

### <改訂理由>

- ・ サフィナミドメシル酸塩製剤の使用上の注意においてアトモキセチン製剤との併用に関し、併用禁忌と記載されていることから、本剤についても同様にサフィナミドメシル酸塩製剤との併用に関し、併用禁忌とする使用上の注意の改訂を行うこととしました。

今回の改訂内容につきましては、日本製薬団体連合会発行の「DRUG SAFETY UPDATE (DSU) 医薬品安全対策情報 No. 287」(2020年3月発行)に掲載の予定です。

また、改訂後の添付文書は医薬品医療機器総合機構ホームページ (<http://www.pmda.go.jp/>) ならびに弊社ホームページ「医療関係者の皆さまへ」 (<https://www.nichiiko.co.jp/medicine/>) に掲載いたします。